

# 第95回 中小企業景況調査報告書

7月～9月の実績と  
10月～12月の見通し

## ■ 今期調査の景況キーワード

前年同期比売上D I値は▲28.1で、前期調査時より20.9ポイントと増加となり、製造業を除く全業種で改善がみられた。  
来期見通し売上D I値は▲18.0で、今期よりさらに10.1ポイントの増加を予測している。  
地域経済は、持ち直しの動きが見られるものの、製造業においては円高等の影響が懸念され、今後の動向を注視していく必要がある。  
景況のキーワードとしては、「震災による先行きの不安」「需要の停滞」「円高の影響」などが挙げられる。

■ 調査時点 平成22年9月30日

■ 対象業種

製造業 25社(22) 建設業 23社(22)  
卸売業 18社(14) 小売業 29社(20)  
サービス業 25社(22) 合計 120社(100)  
※( )内は回答企業数

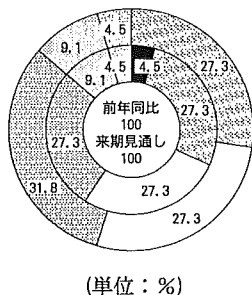
■ 回答率 83.3%

## 概況

◆ 売上状況(前年同期比)では、売上D I値▲28.1を示し前期調査時より20.9ポイント増加した。  
業種別では建設業で45.5ポイント、小売業19ポイント、卸売業16.2ポイント、サービス業で2.5ポイント増加したが、製造業では4.9ポイント減少した。  
来期見通しD I値は、▲18.0で今期調査時よりさらに10.1ポイントの増加を予測している。  
◆ 採算水準(前年同期比)では、D I値は▲29.2で、前期調査時より20.7ポイント好転した。  
業種別では建設業36.3ポイント、卸売業で9.9ポイント、小売業とサービス業が共に6.8ポイント好転したが、製造業で0.3ポイント悪化した。  
来期見通しD I値は▲28.0で今期調査時より1.2ポイントの好転を予測している。  
◆ 仕入単価(前年同期比)では、D I値は▲30.3で、前期調査時より2.2ポイントと好転した。  
業種別では建設業27.7ポイント、小売業22.5ポイント、サービス業5.6ポイント、卸売業で3.3ポイント好転したが、製造業で12.2ポイント悪化した。  
来期見通しD I値は▲27.0で今期調査時より3.3ポイント好転を予測している。  
◆ 資金繰り(前年同期比)では、D I値▲29.3で、前期調査時より6.1ポイント好転した。  
業種別では、建設業27.3ポイント、サービス業で15.5ポイント好転したが、卸売業で2.9ポイント、製造業1.1ポイント、小売業で7.0ポイント悪化した。  
来期見通しD I値は、▲27.0で今期調査時より2.3ポイントの好転を予測している。  
◆ 雇用人員(前年同期比)では、D I値▲3.4で前期調査時より3.9ポイント過剰を示した。  
業種別では、小売業4.3ポイント、製造業6.5ポイント、卸売業8.6ポイント、建設業9.2ポイント、サービス業で20.0ポイント

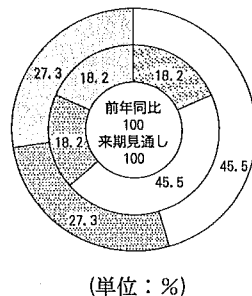
の過剰となった。  
来期見通しD I値は9.0で、今期調査時より5.6ポイントの過剰の増加を予測している。  
◆ 業界の状況(前年同期比)では、D I値▲60.8で、前期調査時より10.0ポイント好転した。  
業種別では建設業18ポイント、小売業で15.2ポイント、卸売業で2.4ポイント好転したが、製造業1.3ポイント、サービス業で11.0ポイントポイント悪化した。  
来期見通しD I値は▲56.2で、今期調査時よりさらに4.6ポイントの好転を予測している。  
◆ 設備投資では、今期実施した企業は9.0%で、来期の設備投資を計画している企業は5.6%であった。  
◆ 経営上の問題点としては、製造業では「需要の停滞」「原材料単価の上昇」「取引条件の悪化」、建設業では、「請負単価の低下・上昇懸念」「官公需要の停滞」「材料単価の上昇」、卸売業では、「需要の停滞」「仕入単価の上昇」「販売単価の低下」、小売業では、「消費者ニーズの変化」「購買力の流出」「販売単価の低下」サービス業では、「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」「新規参入業者の増加」となっている。

## ※業種別売上(外円は前年同期比、内円は来期見通し)

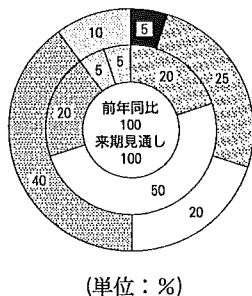


## ▼建設業

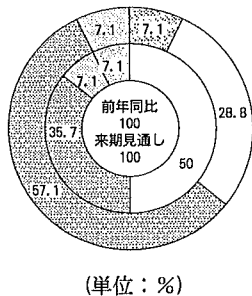
■ かなり増加  
■ やや増加  
■ 変わらない  
■ やや減少  
■ かなり減少  
■ 回答なし



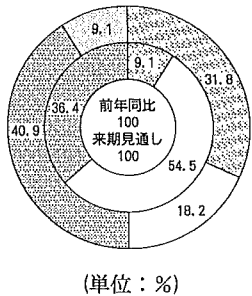
## ▼サービス業



## ▼小売業



## ▼卸売業



## ▼製造業